



ベッド内で要介助者を動かす方法などを学んだ研修会＝阿見町中郷（画像の一部を加工しています）

介助実習でコツ学ぼう 阿見で市民向け研修

阿見町中郷2丁目のサービスタワー「ひだまりあみ」は1日、市民向けの在宅介護研修会を同施設で開いた。近隣住民ら約20人が参加し、要介助者を椅子から立たせる方法などを実習を交えて学んだ。

研修会のテーマは、腰痛予防に配慮した介助。講師には、ひたちの介護福祉学院（那珂市鴻巣）の専任講師、国谷千春さんを招いた。

国谷さんは「介護を受ける側は相手の顔をよく見ている」とした上で、「自分がどういったケアを受けた

いか、考えながら接してあげて」と語った。

介助について「全て体重移動で、力は必要ない」とアドバイス。ベッド内で要介助者を動かしたり、車椅子に乗せたりする方法を実践し、コツを伝えた。

参加者は複数人で交代しながら体験し、「手品みたいに簡単に動く」など驚きながら学びを深めた。同町中郷の70代女性は「細かい気遣いや工夫が大切と分かり、勉強になった」と話した。

研修会は、在宅介護をする市民らに専門知識を還元しようとして企画した。

仲川栄二施設長は「参加者が熱心に臨んでくれ、ありがたい。好評だったので、今後も開催を検討したい」と述べた。（浅野直樹）